

CKJS だより

第42号

校長 松平 昭二

shoji_matsudaira@hotmail.co.jp

価値的理解

ある山村の小さな中学校を訪れたときの事です。「この学校の生徒の特色と云ったら、どんなところにあるのでしょうか？」この問いに、教師の反応は大きく二つに分かれました。

「この生徒は、全くだらしない。遅刻はするし、忘れ物も多い。注意しても、ニタニタしているばかりで、言うことは聞かないし・・・」というのが一つの評価でした。

「この生徒は、大物ですよ。屈託がなく、何事もマイペースです。教師にびくびくしたりしません。こういう生徒の中から、大人物が生まれてくるような気がします」というのが、もう一方の評価でした。

どちらの評価が正しいか、ということではありません。おそらくどちらも正しいでしょう。でも、同じ生徒を見ていながら評価はまったく逆向きになってしまっています。一方は「だらしない」と言い、他方は「屈託がない」と見えています。

この違いは、その学校の教育の方向を全く変えてしまいます。「だらしない」という捉え方から出発した教育は、その是正を目指します。だから、忘れ物もなく、きちんとした生活態度を求めます。

「屈託がない」という見方から出発した教育は、この「良さ」をどう生かし、伸ばしていくかに力を入れます。ものおじすることなく、マイペースで生きていくことを応援します。子どもをどう見るか、どう捉えるかによって、180度その方向が逆になってしまうことを考えると、人が人を育てる「教育」という仕事に恐れを抱いてしまいます。



私たちはいつも、ある「子ども観」、「価値観」をもって、子どもを見ているわけです。そして、私たちの子どもの理解とは、ある価値観に基づいていること、そして、それを絶対視したとき、場合によっては押し付けになること、そのことを自覚する必要があります。

子どもは、親が思うようにはなりません。でも、親のするようにはなるものです。

私も子を育てた親として反省！

新年度のスタートです。園児児童生徒 255 名の生活が始まりました。本年度も子どもの良い芽を見つけて伸ばすことに重点を置いた教育を推進します。保護者の皆さまの一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

CKJS だより

特別号 No.4

校長 松平 昭二

ckjs-office@ckjs.org

本日より、令和 5 年度の新学期が始まりました。また、61 名の新入生を迎え入学式も盛大に行われたこと、教職員一同大変喜んでおります。そして、子どもたちが楽しく学び、健やかに成長するよう、これからも力を合わせて精一杯の努力いたします。保護者の皆様の絶大なるご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



■歓迎のことば(在校生代表)

■新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。春の訪れを感じるこのよき日に、みなさんと同じ場所に集まってお祝いができることをとても嬉しく思います。在校生を代表し、お祝いの言葉を贈ります。

小学部新入生のみなさん、周りにたくさんのお兄さんお姉さんたちが居てドキドキしていますか？ この学校では、みなさんと同じ小学 1 年生から高校生までが一緒にお勉強をしています。

僕たち在校生は、みなさんが入学し、とても嬉しく思っています。

たくさんお友達を作って、思いっきり楽しみましょう。

中学部新入生のみなさん、中学部に上がると勉強は難しくなり、現地校との両立に不安を感じるかもしれません。でも心配はいりません。僕たちに声をかけてもらえればいつでも相談のりです。一緒にがんばりましょう。

高等部新入生のみなさん、現地校での部活動や進学準備などで忙しい中でも、補習校で見かける先輩たちはとても生き生きと輝いています。そんな先輩たちと運動会など一緒に活動できることを楽しみにしています。これからも、みんなで一緒に学び、一緒に思い出を作っていくしましょう。

改めて、新入生のみなさん、保護者のみなさま、本日はおめでとうございます。

中学部 3 年 岡部洋輔

■誓いのことば(新入生代表)

■今日から ぼくたちは 一年生に なります。お友だちを たくさんつくって なかよくします。

先生のおはなしをよくきいて べんきょうも がんばります。

お父さん お母さん わたしたちを いっぱい おうえんしてください。

先生 お兄さん お姉さん よろしく おねがいします。



小学部代表 鈴木新汰

■タンポポやチューリップが咲きほこり、リスがかけまわるのが見られる暖かい季節になった今日、私たちは中学部に入学します。本日は、私たちのために心温まる入学式を開いてくださってありがとうございます。中学校での勉強が、今までの小学生としての勉強とはかなり異なると思うと、緊張や不安でいっぱいですが、一生懸命励んでいきたいです。それ以外でも、この数年行うことができなかった運動会や、他の学年とも交流できる百人一首大会などの学校行事も楽しんでいけたらと思います。私にとって、毎週土曜日に通う補習校は、現地校での出来事を日本語で先生やクラスメイトと共有して楽しむことができる場所です。また、別の現地校に通っている普段は会えない友達とも交流することができる、特別な日でもあります。中学部に入学しても、クラスメイト全員と補習校を楽しむことができる、そして誰かが困った時にはみんなで協力して助け合える、そんな関係を築き、保っていきたいです。私たちはこれから身近にある小さなことから将来のためなどの大きなことまでどんどん色々なことに挑戦して、学んでいきます。先生方どうかこれからもご指導のほど、よろしくお願いいたします。また、お父さん、お母さん、これからも温かく見守ってください。



中学部代表 中林優菜

■暖かな春の訪れとともに、私たちは本日の入学式を迎えることができました。本日は素晴らしい式を行っていただき、誠にありがとうございます。中学校を卒業して、気持ちを新たに高校生活を送るにあたり、不安や期待はありますが、仲間と共に勉強や行事を楽しみながら、全力で取り組んでいきたいです。先生方、先輩方、そして来賓の皆様、これからもご指導のほど、よろしくお願いいたします。



高等部代表 高橋玲央

■新入生学年担任より

■小学部1年生の皆さん、本日は補習校小学部への入学おめでとうございます。保護者の皆様、お子さんのご入学おめでとうございます。お子さんの晴れがましい姿を目にされ、感慨もひとしおのことと思います。

児童にとって今日は、緊張して登校した後、何をしているのかわからないまま入学式の練習をし、たくさんの歓迎の拍手をもらいドキドキして式を終え、午後は初めて教科書を使ったのお勉強、と、様々な気持ちの入り混じった、大変目まぐるしい1日でした。

ですが、これから補習校では、毎週のように、今日に負けないほどのドラマが生まれるはずです。私自身も、それをとても楽しみにしています。

1年生は、小学生としての学習の習慣を身に付ける、大事な学年です。私は、児童が学校生活を楽しく送りながらそれを実現できるように、担任として努めてまいります。保護者の皆様には、特に家庭学習の面で、ご協力をお願いすることになりますが、どうぞよろしくお願いいたします。今日の入学式での児童の「はい！」を胸に、みんな一緒に頑張っていきましょう。

小学部1年1組 担任 リッチふみ

■お父さまのご入学おめでとうございます。今年度、1年2組担任をさせていただきます細川道代と申します。子どもたちが毎週の補習校を楽しみに通えるよう尽力してまいります。お父さま一人一人の良さを大事にし、成長を見守っていきたくと思っています。これから1年間よろしくお願いいたします。

小学部1年2組 担任 細川道代

■新中学1年生のみなさん、入学おめでとう。アメリカで迎えた中学校生活のスタートですが、入学式を終えて真新しい教科書をもらい、最初の一步を踏み出したという実感が湧いてきたのではないかと思います。これから担任として、みなさんの成長を願い、一緒に学習する時間を大切にしていきたいと思っています。また、保護者のみなさま、本日はお子様のご入学おめでとうございます。土曜日のみの授業とはなりますが、お子様のもつ力を精一杯伸ばすことができるよう努力いたします。どうぞ、温かいご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

中学部1年担任 ピーターソン麻梨

■高等部入学おめでとうございます。皆さんは中学部までの義務教育を終えて高等部へ進学されました。今まで勉強したことよりもさらに高度な知識を身に付けることを選ばれたのです。補習校では、日本で高校生として学ぶ数学と国語を学びますが、今までとは違うと感じることもあると思います。そんな時は、1年先輩の高等部2年生に話を聞いてみてください。現地校と補習校の両立は大変だと思いますが、勉強に加えて日本語で友達や先生方と会話ができる週に一度の貴重な高校生活を楽しく過ごし、ケンタッキーでの生活の良い思い出の一章にしてください。これから1年間一緒に学び、そして楽しい時間を過ごしましょう。

高等部担任 横山厚子

■新任のご挨拶

(今年度新たに3名の先生が着任されます。よろしくお願いいたします)

■この度、幼稚園と小学部3年生の副担任を担当させていただきます高橋古登子です。子どもたちの太陽のような明るい笑顔に元気をもらいながら、精いっぱい務めさせていただきますと思います。週に一度の補習校が子どもたちの楽しい学びの場になるようにサポートしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

高橋古登子(幼稚園・小3副担任)

■今年度、小学部2年2組を受け持つことになりました。子供たちが楽しく学べ、毎週笑顔で登校してくれるクラスづくりを目指しています。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

秋山真紀(小2担任)

■今年度より小学部5年生を担当させていただくことになりました。去年の春フロリダ州より参りました。出身は愛知県です。子どもたちと一緒に、楽しく安心できるクラスづくりを目指します。どうぞよろしくお願いいたします。

ネフ直子(小5担任)